

1

付加 (頻度、still, also, _lyなど)



ハイライト部分は語順が固定、茶色の縦連続枠はよく順が入れ替わります。緑色の「とき」を表す表現は複数使えます。

だれ何が／は

どうする

- A **だれ何を／に**
- B →→スキップ→→
- C **だれに** **何を**
- D **だれ何を** **何と、何に**
どんなだ

どのように
どこ
その他

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ



だれ何のために／目的で／を求めて
だれ何について／のことを
何語で、だれ何と一緒に／に対して
だれ何より／のうちで／と同じくらい
どんな行事・機会・点で／に など

2

2-B~2-Fの付加

2-Aの付加

だれ何が／は

- A **イコール**
- B **五感**
- C **なる**
- D **まま**いる

だれ何／どんなだ

だれに
とって
どこ
to ~
that 文
その他

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ

3

付加



“that 文” の that のところ
は if や whether もあり

- A There
- B (特定する語)
だれ何は

be動詞
(いる・ある)

- A (数量詞) だれ何が
- B →→スキップ→→

どこ
その他

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ

4



青網掛け部分は主語 (S)、灰色網掛け部分は動詞 (V)、
オレンジ網掛け部分は目的語 (O)、黄色網掛け部分は補語 (C)

だれ何が／は

どうされる
(be+過分)
付加

- A →→スキップ→→
- B **何を**
- C to / for **だれに**
- D **何と、何に**
どんなだ

どのように
だれに
よって
どこ
その他

いつ
何時に
どのような条件で
どのくらいの間
何回

も

なぜ